

群馬パース大学 保健科学部

平成30年度 前期「学生による授業アンケート」結果について

本学では自己点検・自己評価の一環として、授業改善・教育の質の向上を目的にSD部会が主体となり全学的に学生による授業アンケートを実施しています。

(1)対象科目

本アンケート結果は、平成30年度前期に開講された看護学科79科目・理学療法学科57科目・検査技術学科51科目・放射線学科45科目・臨床工学科42科(通年科目、臨地・臨床実習科目を除く)を対象として実施したものです。

(2)実施期間

平成29年7月9日～平成29年8月30日

(3)質問項目

質問項目は、学生による「授業科目」への評価(5項目)、「担当教員」への評価(9項目)、「学生自身」についての評価(4項目)、の3因子18項目から構成されています。各項目は「1:そう思わない」「2:どちらかというと思わない」「3:どちらかというと思う」「4:そう思う」の4段階評定で回答を求めています(下記参照)。

1:「授業科目」について

- ① 授業はシラバスに示された目標と進行計画に沿って行われていた。
- ② 興味、学習意欲のもてる授業であった。
- ③ 授業の内容は充実していた。
- ④ 授業はわかりやすかった。
- ⑤ 授業の進度は適切であった。

2:「担当教員」について

- ⑥ 教員の授業の準備は十分であった。
- ⑦ 教員は学生の反応を見ながら授業をしていた。
- ⑧ 授業回数、授業開始・終了時間は守られていた。
- ⑨ 教員は学生の質問にきちんと対応していた。
- ⑩ 教材(プロジェクターは除く)とその使い方は適切であった。
- ⑪ 教員の声の大きさや話す速さは適切であった。
- ⑫ 板書やプロジェクターは見やすかった(読みやすかった)。
- ⑬ 課題レポートの量は予習復習と併せて適量である。
- ⑭ 教員は、静かな学習環境が保たれるよう配慮していた。

3:「自分自身」について

- ⑮ 授業にきちんと出席していた。
- ⑯ 私語、携帯電話、居眠り等を慎み、適切な態度で授業に出席していた。
- ⑰ 予習、復習にシラバスを活用していた。
- ⑱ 積極的に質問するなど、不明な点を放置しないよう努めた。

記述式回答

この授業科目について、些細なことも含め、建設的で責任ある意見を具体的に記入してください。

(4)結果表

1:「授業科目」、2:「担当教員」、3:「自分自身」それぞれの質問項目における回答(「1:そう思わない」は1点、「2:どちらかといえばそう思わない」は2点、「3:どちらかといえばそう思う」は3点、「4:そう思う」は4点)の合計から平均を算出し、その結果からさらに項目群の平均点を割り出し科目別に記載しています。平均点は最大値を4とし、最大値に近づくほど望ましい結果となります。